

スポーツパフォーマンス分析		講義	教授 柳澤 修
科目カテゴリ	スポーツマネジメントコースの専門選択科目, スポーツトレーナーコースの専門選択科目	科目ナンバリング	11322226

1. 授業のねらい・概要

「スポーツパフォーマンスは、科学的なデータによって支えられている」と言っても過言ではない。この授業では、アスリートの形態・体力・動作測定に関する基本的知識と測定スキルなどを学ぶ。加えて、取得したデータを分析し、整理し、それを他者に効果的にフィードバックするプレゼンテーションスキルについても学習する。

2. 授業の進め方

資料を活用した講義と実習（データの計測と整理）が中心となる。加えて、まとめとして、学生自らが授業内で計測したデータを他の学生に対してプレゼンテーションする形式を組み込む。

3. 授業計画

1. ガイダンス	10. データ分析（差の分析）
2. スポーツパフォーマンス分析の目的と意義	11. データ分析（関係の分析：相関）
3. 筋形態の計測	12. データ分析（関係の分析：回帰）
4. 筋力・筋パワーの計測	13. データプレゼンテーション（グループA）
5. 身体動作の計測	14. データプレゼンテーション（グループB）
6. バランスの計測	15. データプレゼンテーション（グループC）
7. スピード・敏捷性の計測	
8. 取得データの提示方法（表作成）	
9. 取得データの提示方法（グラフ作成）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

今回のテーマに関する基本的な用語は事前によく調べておくこと。なお、この事前準備には1時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

事前学習の課題に関しては、授業の冒頭で解説をする。

6. 授業における学修の到達目標

スポーツパフォーマンスに関わる生体データの取得方法ならびにデータの効果的なまとめ方について理解・実践できるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

プレゼンテーション（50%）と期末レポート（50%）にて評価する。成績評価にあたっては、授業回数の2/3以上の出席を前提とする。

8. テキスト・参考文献

フィットネスチェックハンドブック―体力測定に基づいたアスリートへの科学的支援, 大修館書店

9. 受講上の留意事項

事前にもしくは併せて、人体構造学や運動生理学、バイオメカニクス、統計学関連の科目を履修していることが望ましい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、国内トップアスリートを対象とした研究機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。